

筑波研究学園都市（研究学園地区）のまちづくりの経緯

第1ステージ	1963年	S38年	「研究・学園都市の建設について」閣議決定	つくば市の人口 ↓ S45年 7.8万人 ↓ S55年 12.7万人
	1966年	S41年	用地買収が開始	
	1970年	S45年	「筑波研究学園都市建設法」が制定公布 花室地区の国家公務員宿舎の建設開始	
	1974年	S49年	筑波大学開校	
	1980年	S55年	43の移転機関の移転終了 筑波研究学園都市の概成	
第2ステージ	1981年	S56年	常磐自動車道柏IC～谷田部IC開通	↓ H2年 16.8万人 ↓ H12年 19.2万人 ↓ H25年 21.7万人
	1985年	S60年	国際科学技術博覧会が開催 クレオオープン つくばセンター交通広場が完成 常磐自動車道三郷ICと柏ICが開通し、東京と直結	
	1987年	S62年	高速バス開通（東京～つくば） つくば市誕生	
	1990年	H2年	つくば三井ビルオープン つくば文化会館アルスオープン	
	1996年	H8年	市民交流センターカピオ完成	
	1999年	H11年	筑波研究学園都市の法定事業が収束 つくば国際会議場がオープン	
	2001年	H13年	国立研究機関の独立行政法人化	
	2002年	H14年	「のりのりバス」正式運行開始 荃崎町が編入合併	
	2004年	H16年	国家公務員宿舎の一部が廃止・売却	
	第3ステージ	2005年	H17年	
2006年		H18年	第3期科学技術基本計画で筑波研究学園都市の課題が明記 「つくバス」運行開始	
2007年		H19年	高度地区を都市計画決定 景観条例を施行	
2008年		H20年	「つくば環境スタイル」を策定	
2010年		H22年	「新たなつくばのグランドデザイン」を策定	
	2012年	H24年	「研究学園地区まちづくりビジョン」を策定	